

平成 24 年 3 月 29 日

電通、スマートフォンについての利用実態を調査 ～急増する若者ユーザーの「スマ充」ライフ～

株式会社 電通（本社：東京都港区、社長：石井直 以下電通）は、近年急激に利用者数を増やしているスマートフォンに着目し、スマートフォンユーザーの利用実態調査を行いました。

電通では 2003 年より 50 回にわたり「モバイルユーザー調査」続けておりますが、近年スマートフォン（以下スマホ）等の機器が急速に普及している状況を踏まえ、2009 年よりスマホに関する調査項目を加えました。今回は、調査結果から明らかになった「スマ充（スマホ駆使の充実生活）」に関するトピックスをご紹介します。

■調査結果トピックス

- ① **スマホユーザーが 3 年間で 3%から 36%へ急増**（表 1）。
 - ・ 2012 年調査では 2011 年に比べ男女 10 代の利用率が大幅にアップ（表 2）。
（男性 10 代：7%⇒37%、女性 10 代：7%⇒31%）
- ② **ケータイから乗り換えて、「スマ充」に。**
女性 10・20 代が、パソコン並みにネットを利用。
 - ・ スマホユーザーの 89%が「スマ充＝スマホ駆使の充実生活」を実感（表 3）。
 - ・ ケータイ利用時に比べて、スマホ利用時の「フルブラウザ」「SNS・ミニブログ」「動画共有サービス」の利用が格段に広がる。特に女性 10 代でその特徴が顕著（表 5）。
- ③ **スマホ利用によって男女 10 代の「情報接触の内容」や「友人知人との交流」に大きな変化が**（表 6、表 7）。
 - ・ 男女 10 代はスマホで SNS・ミニブログを利用した「友人知人との交流」を得意とし、それらのサービスを通じて「リンク先にある面白いネタ」等の情報に接触。
- ④ **パソコン並みの「スマホ中古市場」ができあがる可能性？**
スマホ利用者の 51%が「大切に使って、高く買い取られたい」と考えている（表 8）。
- ⑤ **スマートタブレットの利用率は、すでに 9%（表 10）。**
Wi-Fi の利用率は全世代層で 50%超（表 11）。

今後も、当社ではスマホに限らず、スマートタブレットなどの新デバイスやそのアプリやコンテンツの可能性、人々の抱える思いについて調査・報告していく予定です。

■調査概要

第 50 回モバイルユーザー調査

- ・調査方法 : PC インターネット調査
(ネットでの調査は、2003 年 11 月より隔月で実施中)
- ・実査時期 : 2012 年 1 月
- ・調査地域 : 関東圏 (東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城)
- ・調査対象者 : 中学生を除く 15~49 歳までの携帯電話利用者
- ・有効回収サンプル数 : 合計 1000ss (過去 50 回共通です)
※スマホ利用者サンプル数は 358ss

■問い合わせ先

【リリースに関する問い合わせ先】

電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部 林田
Tel : 03-6216-8041

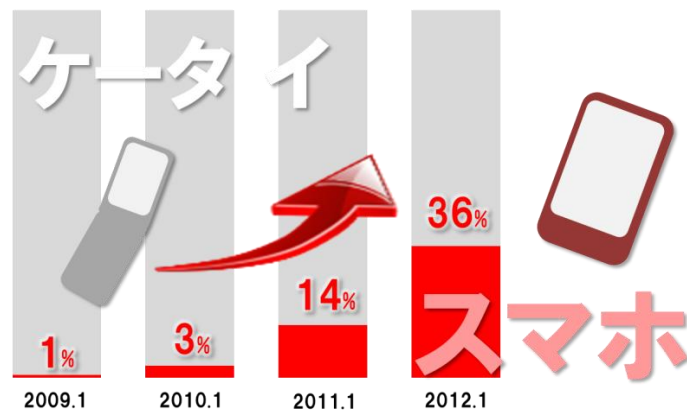
【調査に関する問い合わせ先】

電通 ストラテジック・プランニング局 谷内、吉田
Tel : 03-6216-8707

- ① スマホユーザーが3年間で3%から36%への急増。
特に男女10代が、この一年間にスマホデビュー。

2009年には1%だったスマホ普及率が、この3年間で36%にも達しています。

現在使っている、携帯のタイプは？

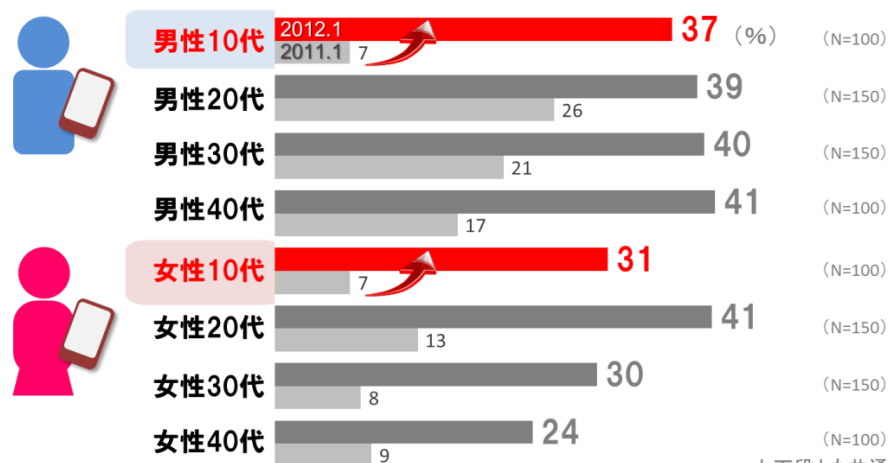


(各回 N=1000: 全数)

(表 1)

この1年間に最も大きく伸びたのは、昨年まで7%しかなかった男女10代。ともに利用率が30%を超える大幅UP。「社会人になったらスマホデビュー」はすでに古い認識になりつつあるようです。

この一年間で、スマホ利用率が伸びたのは？



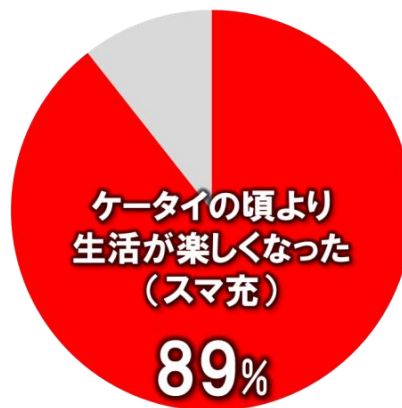
上下段とも共通

(表 2)

- ② ケータイからのりかえて、「スマ充」に。
特に女性10・20代が、パソコン並みにスマホを大活用。

スマホユーザーにケータイから乗り換えてみた感想を聞くと、「ケータイの頃より生活が楽しくなった」とする「スマホで充実生活＝スマ充」なユーザーが9割にも達していることが分かりました。

スマホを使い始めて、変わったことは？

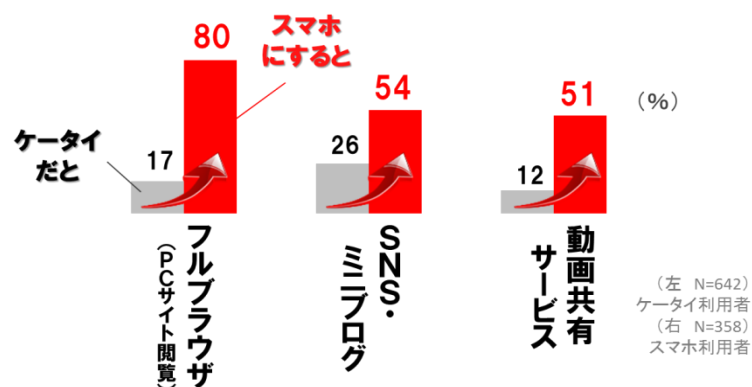


(N=358:スマホ利用者)

(表 3)

「スマ充」を感じさせる要因について調査をしたところ、まず目についたのが利用内容の変化です。ケータイ利用者に比べて「フルブラウザ (PCサイトの閲覧)」「SNS・ミニブログ」「動画共有サイト」等を、格段に利用するようになっていきます。

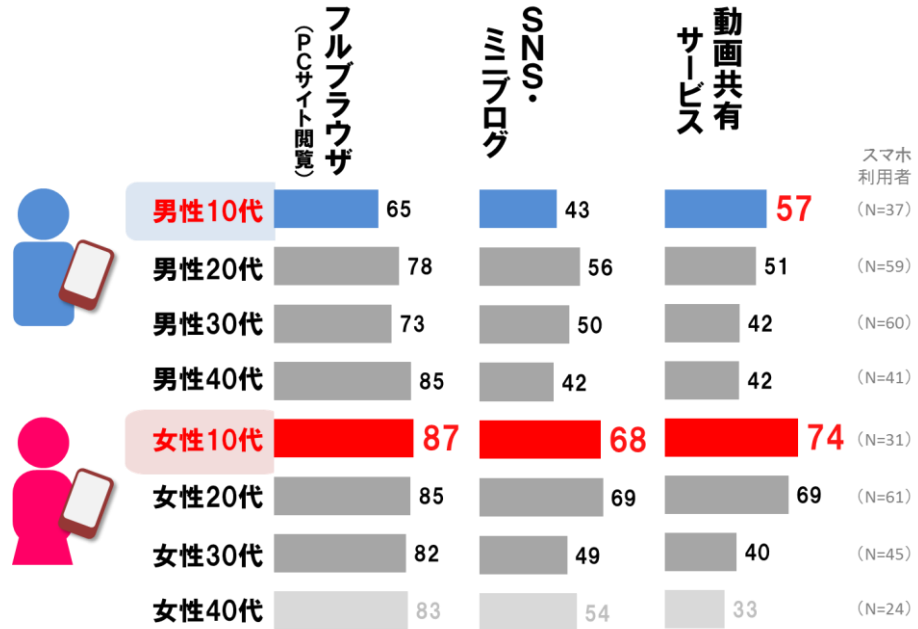
利用してることは？



(表 4)

各層でのスマホユーザーの利用率をしてみると

世代別で見ると、特に女性10・20代のスマホ利用者は「フルブラウザ」「SNS・ミニブログ」「動画共有サービス」の利用率が他の世代層より高く、パソコン並みにスマホを活用していることがうかがえます。

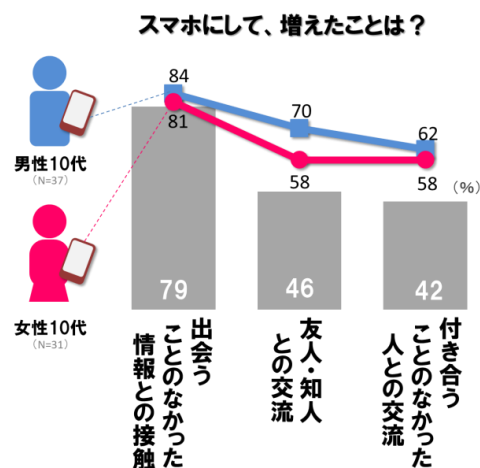


女性40代はスマホ利用者の
サンプル数僅少のため参考値

(表 5)

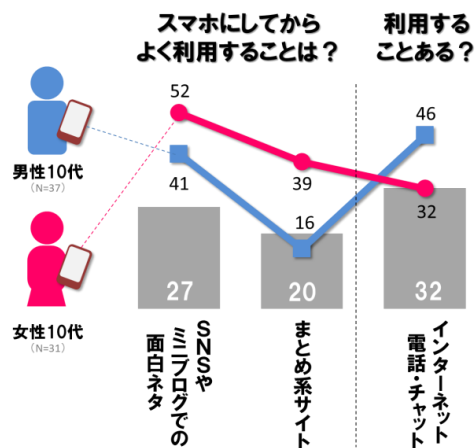
③ スマホ利用によって男女10代の「情報接触の内容」や「友人知人との交流」に大きな変化が

次に注目したのが、「スマホ利用によって増えたこと」です。スマホ利用者全体で「ケータイの頃は会うことのなかった情報との接触」「付き合うことのなかった人との交流」が40%を超えました。特に男女10代の若者スマホユーザーで「会うことのなかった情報との接触」が80%を超え、「友人・知人との交流」、「付き合うことのなかった人との交流」ともに非常に高い割合を示しました。



(N=358:スマホ利用者) (表6)

情報との接触や人との交流の際、スマホにしてからよく利用するサービスを調べたところ、特に若手ユーザー（男女10代）の中で特徴的に表れたのが、「SNSやミニブログでの面白ネタ」の閲覧で、スマホユーザー全体の利用率を大きく上回りました。スマホを利用し始めた若者はメールよりSNS・ミニブログを使った友人、知人との交流を得意とし、そこを通じて「リンク先にある面白いネタ」といった情報に接触していることがうかがえます。また女性10代では「まとめ系サイト（ハムスター速報等）」の利用もみられました。男性10代では「インターネット電話・チャット」もよく利用されています。



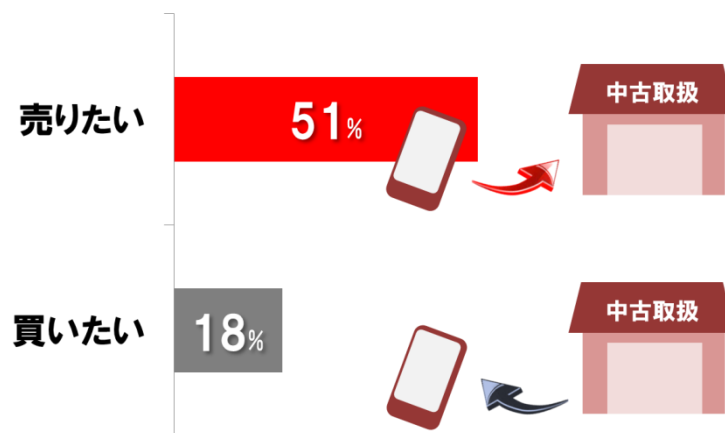
(N=358:スマホ利用者) (表7)

④ パソコン並みの「スマホ中古市場」ができあがる可能性？

スマホ利用者の51%が「大切に使って、高く買い取られたい」と考えている。

スマホの普及と相まって、中古への欲求も活性化しています。スマホがパソコン並みに使われるようになって、パソコンと同じように「下取ってもらいたい」という考えの人が半数もいません。しかし、中古端末を「買いたい」という人は、まだそれほど多くはありません。

スマホを中古として、 売りたい／買いたい？



(N=358: スマホ利用者) (表 8)

パソコンと同じように「下取り価格」を意識するようになったからか、普段から傷つけないよう大切にスマホを使い、買った時の「箱を捨てずにとってある」と答えた人も半数を超えています。

傷つけないよう
大切に使う？

YES=67%



箱を捨てずに
とってある？

YES=51%

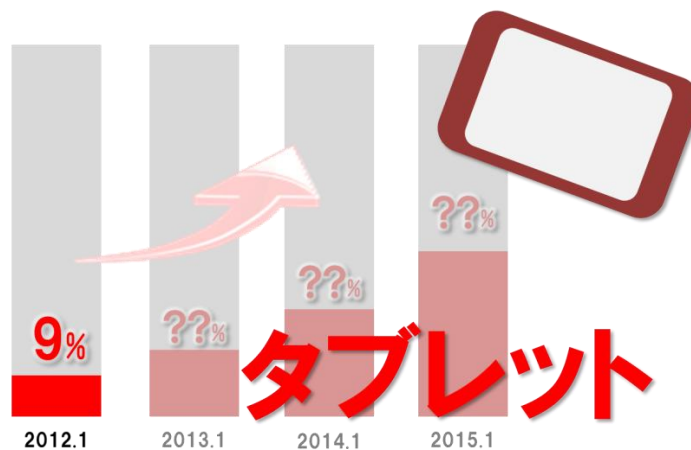


(N=358: スマホ利用者) (表 9)

- ⑤ スマートタブレットも、すでに9%。
Wi-Fiの利用率は全世代層で、50%を超える利用率に。

スマホと同様、スマートタブレットも今後普及が予想されます。そのスマートタブレットの普及率はすでに9%となっています。あっという間に、スマホとスマートタブレットが「当たり前になる世の中」がやって来ようとしています。

スマートタブレットの利用率は？

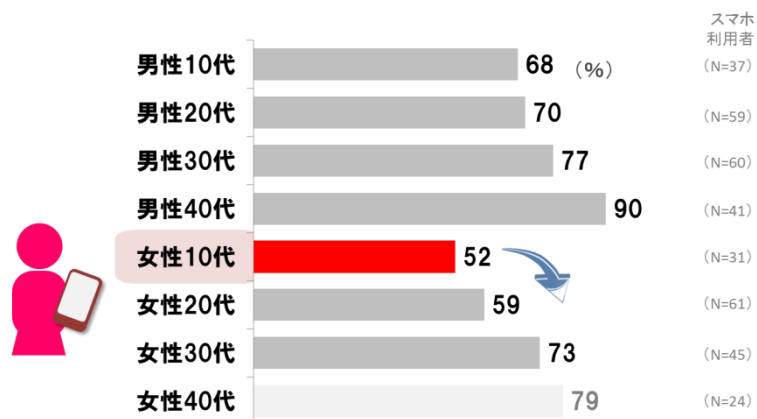


(N=1000:全数)

(表 10)

スマートフォンの利用者のWi-Fiの利用率を調べたところ、全世代層で50%を超える利用率となりました。スマート時代への突入によって、Wi-Fiの利用率も増えてきていることがうかがえます。一方でパソコン並みにスマホを使うようになった女性10・20代では、他の世代層と比べてまだまだ低い状態になっています。

Wi-Fiの利用率は？



女性40代はスマホ利用者のサンプル数僅少のため参考値

(表 11)